

島根県文化団体連合会

Bunkaren NEWS

ぶんかれんニュース 〈2014年3月〉

文化芸術次世代育成 支援事業の開始から 2年経過して

— 実施団体の現場から —



第11回島根県民文化祭入賞者が
決定しました

県展受賞作品を溝口知事が鑑賞
次世代育成につながる中・高生の作品展示

しまね文芸フェスタ・出雲市で開催
文芸作品公募・表彰式にぎわう！！

自由な発想で文字を表現！硬筆アート展開催

うれしい ニュース Around Culture

「出雲楽友協会」、 「劇団Yプロジェクト」、 島根県文化奨励賞を受賞

2014年3月6日、島根県における文化の発展に貢献することが期待され、その活動を奨励するにふさわしい方や団体に贈られる島根県文化奨励賞を、「出雲楽友協会」と、「劇団Yプロジェクト」が受賞されました。

「出雲楽友協会」は2010年4月に設立、音楽家と愛好家の協働体制から提供される質の高い演奏が、県民の文化水準の向上に貢献していることが評価されました。

また、「劇団Yプロジェクト」は1999年4月に設立、前身の活動も含めると20年以上の歴史をもっています。これまで地道な公演活動を通じ、県民に芸術性の高い演劇鑑賞の機会を提供していることが評価されました。

「出雲楽友協会」と「劇団Yプロジェクト」の今後の活躍が注目されます。

田中義浩さん、森山正治さん、 島根県各種功労者表彰を受賞

11月22日、「多年創作活動に取り組み地域における文化芸術の振興に寄与した功労」により、今年度も文化連合員の中からお二人が受賞されました。

田中義浩さんは、島根県合唱連盟の副理事長、理事長を歴任され（現在は参与）、長年小中学校向けの合唱講習会や合唱大会を企画するなど、県内の小中学校の合唱音楽育成

に力を注いでおられます。

森山正治さんは、島根日本画協会の理事（現在は参与）をお務めになり、出雲市に拠点を置く塔雲会の会員として日本画の普及・指導にあたられました。また、島根県総合美術展（県展）の審査員を長年務められました。

で行い、地球環境保護の大切さを訴えてきました。その間、延べ3,500人を超える県民が出演されており、その取り組みは全国的にも類を見ないものとなりました。

20周年を迎え、隠岐での初の公演も開催され、本土と隠岐のキャストの共演、地元小学生の団体鑑賞も行われ、文化の裾野拡大の一躍を担いま



「あいと地球と競売人」隠岐公演（10月5日）

「あいと地球と競売人」 20周年を迎え、 島根県功労者表彰受賞

初演から20年にわたり県民参加ミュージカル「あいと地球と競売人」を公演することにより、文化芸術を通じ県民に勇気と感動を与えるとともに、県勢の発展に寄与した関係者の功績を称え、8月17日、ミュージカル「あいと地球と競売人」製作委員会へ、溝口知事より島根県功労者表彰が授与されました。

「あいと地球と競売人」は1991年に12歳で急逝された斐川町の坪田愛華さんが描き残したマンガ「地球の秘密」をもとに制作され、1994年の初演から、50回に及ぶ公演を県内外

した。

愛華さんの小さな手から誕生した「地球の秘密」と、そこから生まれたミュージカルは、20年経った今でも色あせることなく、観る者に大きな感動を与えてくれます。

里見香奈さん、三段昇段

12月、里見香奈さん（公益社団法人日本将棋連盟奨励会）が、女性として初めて同奨励会三段に昇段されました。

今後は、正式なプロの棋士である同奨励会四段を目指されることとなります。大きな目標に向かってますます活躍されることが期待されます。

■編集後記

今回は、次世代事業に取り組む会員を代表して、山陰フィルの加藤さんに報告していただきました。お忙しい中を快く引き受けてくださり、ありがとうございました。また、「ニュース」のデザインを変更してみました。

次回も、できるだけ多くの会員の皆さんの現場の生の声を掲載させていただき、団体相互の情報交換はもとより、情報発信の場としたいと考えています。

発行者 島根県文化団体連合会

お問い合わせ…島根県文化団体連合会事務局

〒690-8501 島根県松江市殿町1

（島根県環境生活部文化国際課内）

TEL 0852-22-5877 FAX 0852-22-6412

E-mail bunkashinko@pref.shimane.lg.jp

第11回島根県民文化祭入賞者一覧

文芸作品公募

短歌

知事賞 藤井 桂子（出雲市）

金賞 沖田 稔子（江津市）

銀賞 松浦 フミコ（邑南町） 勝部 秀明（松江市）

銅賞 長田 之男（江津市） 服部 文枝（邑南町）

田中 美佐子（出雲市）

ジュニア部門大賞

村山 貴規（開星中学校2年）

ジュニア部門優秀賞

大和 里緒（開星中学校3年）

俳句

知事賞 青木 道子（益田市）

金賞 青木 紫女（浜田市）

銀賞 三島 律夫（瀬戸区(出身:松江市)） 本田 勉（浜田市）

銅賞 森木 八潮（松江市） 福田 民子（出雲市）

田口 耕（海士町）

ジュニア部門大賞

石倉 樹（松江市立八雲中学校3年）

ジュニア部門優秀賞

物部 瞭汰（開星中学校3年）

川柳

知事賞 柳樂 たえこ（出雲市）

金賞 持田 淑子（出雲市）

銀賞 渡辺 康乃（江津市） 加藤 和代（江津市）

銅賞 吉岡 房子（江津市） 城 多喜（出雲市）

妹尾 喜子（出雲市）

ジュニア部門大賞

新谷 祐貴（島根大学教育学部附属中学校1年）

ジュニア部門優秀賞

竹下 陽登（江津市立桜江小学校4年）

詩

知事賞 升田 尚世（安来市）

金賞 宮川 菊代（神戸市(出身:益田市)）

銀賞 佐野 正芳（出雲市） 牧尾 実（隠岐の島町）

銅賞 凜子（松江市） 佐田 光子（邑南町）

渡部 美穂（松江市）

ジュニア部門大賞

南場 智揮（出雲市立佐香小学校6年）

ジュニア部門優秀賞

南場 萌花（出雲市立佐香小学校6年）

散文

知事賞 牧尾 実（隠岐の島町）

金賞 森岡 隆司（広島市(出身:出雲市)）

銀賞 佐野 正芳（出雲市） 澁谷 幹雄（浜田市）

銅賞 洲浜 寿晴（松江市） 藤本 欣哉（広島市(出身:浜田市)）

小林 俊二（大田市）

ジュニア部門優秀賞

鳥屋尾 冴海（島根大学教育学部附属中学校1年）

硬筆アート展

知事賞 伊藤 敦子（松江市）

金賞 石川 礼子（出雲市）

銀賞 大瀧 勝久（松江市） 加藤 和溪（出雲市）

銅賞 伊藤 千尋（松江市） 梅田 賀千（江津市）

山田 成実樹（安来市）

島根県総合美術展（県展）

日本画

知事賞 児玉 美智子（益田市）

金賞 福間 美智子（出雲市）

銀賞 黒田 育子（出雲市） 渡 麻矢（大田市）

銅賞 江戸 健（出雲市） 清原 茂治（松江市）

森脇 純子（出雲市）

書

知事賞 木佐 真由美（出雲市）

金賞 村上 香（松江市）

銀賞 坂根 勝海（大田市） 藤原 明彩（松江市）

銅賞 小村 翠邨（雲南市）

須山 玲羊（松江市） 竹内 幸恵（松江市）

洋画

知事賞 佐々岡 秀夫（浜田市）

金賞 篠田 巧（益田市）

銀賞 平木 千秋（海士町） 豊島 美智恵（松江市）

銅賞 神門 芳子（松江市） 影山 正人（出雲市）

菅野 達朗（松江市）

工芸

知事賞 荒尾 浩之（大田市）

金賞 深田 学（雲南市）

銀賞 松本 輪加子（松江市） 福間 基（松江市）

銅賞 川井 哲夫（安来市） 上野 幸美（出雲市）

木下 恵理香（出雲市）

写真

知事賞 川上 政光（出雲市）*

金賞 楯ヶ瀬 進（雲南市）

銀賞 橋本 英治（出雲市） 森岡 修（江津市）

銅賞 曾田 敦子（松江市） 多久和 豊（出雲市）

尾崎 美智（浜田市）

デザイン

知事賞 平井 祥子（松江市）

金賞 稲田 通子（安来市）

銀賞 岩成 浩行（松江市） 品川 良樹（松江市）

銅賞 青木 明莉（出雲市） 近藤 颯（安来市）

池田 彩乃（松江市）

彫刻

知事賞 佐藤 信光（安来市）

銀賞 松本 健志（出雲市） 知念 八重子（邑南町）

銅賞 岩崎 光彦（安来市） 長廻 國夫（出雲市）

※表紙の写真は、島根県総合美術展（県展）写真部門知事賞受賞作品「憩う」です。
まなづる
早朝、新内藤川に生息する真鶴を撮影されたそうです。

「ぶんかれん」（島根県文化団体連合会）とは

島根の文化振興を目的として、県内の音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、文芸などの団体によって、平成14年7月に設立されました。主な活動は、文化団体相互の連絡調整、島根県民文化祭の企画・実施、文化団体の育成等。会員には分野別の県域文化団体と市町村文化協会など46団体が加盟。賛助会員として報道機関など20団体が参加しています。

県展

受賞作品を溝口知事が鑑賞

第46回島根県総合美術展（県展）は、11月23日、県立美術館ロビーでの開会式で開幕しました。開会式には溝口善兵衛知事が出席され、「半世紀にわたって県民の皆様に親しまれたこの県展で、多くの方に素晴らしい作品をご覧くださいと思います」とあいさつされました。

続いて、各部門の審査員代表によるギャラリートーク（作品解説）が催され、最優秀の知事賞受賞作品などの解説紹介がありました。

今回は計651点の応募作品があり、県立美術館には、9日間の期間中に7,085名の方々が観覧に訪れました。また、石見美術館（グラントワ内）に会場を移して12月5日から開催された移動展には、4日間の期間中に720名の方々が観覧されました。



洋画の知事賞受賞作品の解説に聞き入る溝口知事



移動展（石見美術館）での観覧風景

次世代育成につながる中・高生の作品展示

今回の県展では、中学生・高校生を対象として8月に2日間にわたって行われた「テラコッタ講習会」での成果作品の特別展示がありました。この講習会は、島根彫刻会が彫刻の愛好者を育成し、次世代の文化振興に寄与することを目的として、文化芸術次世代育成支援事業で取り組まれたもので、美術の分野において初めての試みでした。

成果作品は全部で20点、彫刻部門の一角に展示されました。

いずれも参加した中学生・高校生たちの汗と努力の結晶であり、今後の活躍が期待されます。



中・高生の作品を特別展示

硬筆アート展

書の美しさと創造性を追求

11月3日から10日まで島根県民会館で硬筆アート展を開催しました。

今回も、毛筆以外の筆具と素材を自由に使って文字を表現した多様な作品が出品されました。つけペンを使った正統派から割り箸、ろう、水鉄砲、中には釣ったハゼまでも素材にしてしまう自由な発想による力作86点が、多くの観覧客の目を惹きつけていました。

出品者の最年少は4歳、最年長は88歳と幅広い年齢層の方々から出品いただきました。小・中・高校生と若い世代の出品も年々増えてきており、今後ますます創造性豊かな作品の出品が期待されます。



会場の様子



入賞者のみなさま

文芸

文芸フェスタを出雲市で開催

9月23日、「しまね文芸フェスタ2013」をビッグハート出雲（出雲市）で開催しました。

安原葉氏（俳人、「ホトトギス」同人会会長）を講師に「花鳥諷詠のこころ」と題した講演会を開催。安原氏は、高濱虚子が提唱する「花鳥諷詠」の理念を説き、「人や自然と心を通わせることで技法を磨き、花鳥諷詠を実践することが俳句の道であるのみならず、未来へ向けての人の進むべき方向をも明示している」と結ばれました。

その後、短歌、俳句、川柳、詩、散文の各部門にわかれ交流会を開催、親交を深めました。

県西部を襲った豪雨災害により、山陰本線江津・浜田間が運休しており、JR利用の石見部からの参加者の到着の遅れが心配されましたが、幹事部門の島根県俳句協会、文芸運営委員、地元実行委員等多くの関係者の協力により、午前の講演会には227名、午後の部門別交流会には328名もの参加があり、盛会となりました。



文芸フェスタ講演会

文芸作品公募

文化活動の充実・継承・発展と、次世代の担い手の育成を目的として、昨年度、小中学生を対象とするジュニアの部で、新たに大賞・優秀賞の2つの賞を文芸各種目に創設し、その効果もあってか出品数が大幅に増加しました。

今年はより多くの応募が期待されましたが、ジュニアの部の総出品数は834点となり、一昨年並にとどまりました。

残念なことに、昨年度まで、短歌・川柳・詩の3種目にわたって多数応募をされていた学校からの応募がなく、熱心に取り組まれていた担当の先生がおられなくなっていたことがわかりました。このことから、ジュニアの応募は学校の先生の意向によるところが大きいことを実感しました。今後、ジュニアへの文芸の普及は、学校への働きかけもひとつの課題であるといえるかもしれません。

一方で、一般の部の応募数は、応募時期が夏場で、例年にも増す猛暑となり案じていましたが、心配を余所に、多くの方々の文学に対する熱意により、1,383点から1,524点へ大幅に増加しました。



島根文芸第46号



県環境生活部長から表彰を受ける入賞者



文芸作品公募 表彰式（県職員会館）

文化団体連合会の会員募集!!

島根県文化団体連合会の活動に参加してみませんか。

文化連は、県内に所在し、活動の趣旨に賛同する文化団体をもって構成しています。

私たちは、文化団体相互の情報交換や、県民文化祭の企画・実施、文化団体の育成等の活動を通じて、会員相互の交流や協力を深めるとともに、文化活動の充実・継承・発展を目指します。このため、まずは仲間たちの輪を広げ、多くの団体に参加してもらうことが大切と考えています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

文化芸術 次世代育成 支援事業

(しまねの文化芸術体験事業)

次世代事業に寄せて —子どもたちに生の文化芸術を—



島根県文化団体連合会
会長 有澤 寛

国の成熟度は経済的豊かさのみならず文化的豊かさをもって計るといわれています。未来を担う子どもたちに生の文化芸術に触れる機会を提供することは、子どもたちが文化芸術を知ったり、始めたりするきっかけづくりとなり、文化芸術活動の裾野の拡大につながるものと考えます。

平成23年11月に制定された「島根県文化芸術振興条例」においても、次世代の育成は重要なものとして謳われており、当連合会も文化芸術次世代育成支援事業や県民文化祭の企画・実施などの活動を通じて、次世代の育成を意識した事業展開を図るなど、本県の文化振興に寄与することができるよう努めて参ります。

この事業は、文化連会員の皆様が、学校や公民館等に出向いて、次世代の担い手に指導や合同公演などを行う取り組みで、文化連から会員に委託して実施するものです。

今年度は、授業や学校行事として取り組まれた学校が14校、参加者募集等による実施が3件ありました。特に、新たに隠岐地域での取り組みや美術分野における取り組みが開始され、ジャンルや地域に広がりが見られたことは、喜ばしい限りです。

事業の開始から2年を経過して、昨年度から継続して取り組まれております島根県オーケストラ連絡協議会（山陰フィルハーモニー管弦楽団）の加藤幹雄さんに現場での様子について聞きました。



白浪五人男～稲瀬川勢揃いの場～(出雲市立窪田小学校)



学習発表会にむけて練習中(雲南市立掛合小学校)

山陰フィルは小規模校2校で公演

奥出雲町立高田小学校では、1年生も含む全校児童13名におもちゃの楽器を担当してもらって「おもちゃの交響曲」を弦楽アンサンブル11名と共演。保護者や地域の皆さん約50名の前で、緊張の本番を見事にやり遂げました。また、8名の優秀な吹奏楽部で有名な大田市立第三中学校では、その部員と70名のオーケストラとの共演や、全校生徒26名がリレーしてオーケストラを指揮するという初めての試みで盛り上がりました。

生徒の負担金では経費を賅えない小規模校での生のオーケストラ公演は、この事業だからこそ実現したものです。団員もこうした取り組みの重要性を理解しており、今後も積極的に出演することになっています。



「おもちゃの交響曲」本番風景(高田小学校)



指揮者に挑戦(大田第三中学校)

平成25年度 取組一覧

団体名	事業概要(開催地等)
島根県オーケストラ連絡協議会 (山陰フィルハーモニー管弦楽団)	<フル・オーケストラ><アンサンブル> 小中学生への楽器指導・合同演奏と招待演奏(大田市、奥出雲町)
島根県オーケストラ連絡協議会	中学生への弦楽ワークショップ・合同演奏 (ワークショップ:出雲市 演奏会:松江市)
島根県合唱連盟	小学生への合唱講習・合同演奏と招待演奏(隠岐の島町)
島根県吹奏楽連盟	小中高校生への管楽器ワークショップ・指導者との合同演奏・招待演奏 (ワークショップ:松江市、出雲市、浜田市、益田市、邑智郡 演奏会:松江市)
島根演劇ネット (劇団あしぶえ)	小中学生への「表現力」「コミュニケーション能力」ワークショップ・演劇の成果発表公演(松江市、出雲市、大田市、浜田市)
島根演劇ネット (劇研「空」)	小学生への詩朗読・群読ワークショップ(発声の基本練習・朗読の仕方など) (津和野町)
島根県太鼓連盟	小中学生への実演鑑賞指導・成果発表、太鼓団体の模範演奏(雲南市、美郷町)
島根彫刻会	高校生へのテラコッタ講習・作品展示 (ワークショップ:出雲市 作品展示:松江市)
島根県地歌舞伎連合会	小学生への出雲歌舞伎の実演鑑賞指導・成果発表公演(出雲市)